



# 組織部速報

2023年10月5日  
No. 8

## いのちの森づくり

### 「臼沢の森」下草刈りの取り組み！

栃木県日光市の足尾銅山周辺のは、明治期の銅山開発による伐採や鉱石を精錬する工場から排出された鉱毒ガスによって禿山となっていました。荒廃した山を復旧するため現在も国や県による治山事業や市民団体による植樹が続けられています。

9月30日、中央本部と関東地本は、足尾銅山跡地にある臼沢の森において、下草刈り整備をおこないました。

臼沢の森には貨物労組が2年前に249本の苗木を植樹した「貨物の森」と呼ばれるエリアがあります。しかし苗木の発育は思わしくなく、豊かな森に戻すためには私たちが手を加え、整備していく必要があります。

参加者9名は、朝から小雨が降る中、鎌や刈込鋏を持って400段の急な階段を上り「貨物の森」に茂った人の背丈ほどの雑草を2時間かけて刈り取っていきました。



昼食後は「森びとプロジェクト」の清水副代表・大野運営委員と意見交換を行ない、「地球の温暖化・沸騰化は人類の経済活動の結果であり、生命に直結する問題として捉えること」「木を植え、森づくりを通じて人間性を育てよう」と提起を受け、参加者からは「森づくりの大変さと自然の力を感じた」「地球温暖化を食い止める力になりたい」「地球環境について組合員に伝え、次は若い組合員と参加したい」など感想が出されました。

貨物労組は引き続き「いのちの森づくり運動」を展開し、地球環境を守り自然を大切にする仲間を広げていきます。